

研究公開文書

研 究 名	人工肛門を造設しない腹腔鏡下直腸低位前方切除術に関する検討
研 究 の 概 要	直腸手術において人工肛門は必要となることがあるが、患者側の精神的、肉体的負担は大きいと考えられる。直腸低位前方切除術の重篤な術後合併症は縫合不全であり、そのために一時的人工肛門を造設する施設も多い。しかし、上記の患者側の負担軽減目的に、当院では腹腔鏡下直腸低位前方切除術における一時的人工肛門は避ける方針としている。本治療方針の妥当性を検証する。
研 究 対 象	2011年4月から2020年8月までに小田原市立病院で腹腔鏡下低位前方切除を受けられた方
研 究 責 任 者	外科 清家和裕
研 究 実 施 期 間	研究許可日～2021年7月1日
連 絡 先	外科 清家和裕 小田原市久野 4 6 番地 小田原市立病院 0465-34-3175